

学校運営協議会議事録

作成日 令和6年3月6日

作成者 河村 真

会議名:令和5年度 第3回小田原高等学校 学校運営協議会

日時:令和6年3月6日(水) 15:40～17:00 場所:第一会議室

時程・議題

(1)開会(石野会長より) 15:40～15:45

(2)学校運営協議会(司会 副校長 / 記録 改田教諭・河村教諭):15:45～16:25

【学校評議委員会委員、学校担当職員】

- 出席者紹介
- 令和5年度学校評価実施結果報告及び学校教育計画「4年間の目標」に対する取組の達成度評価
総括表について(各グループ)
全日制課程
[菊地原孝祐・総務グループ 総括教諭]
[山口 真也・教務グループ 総括教諭]
[由元 美保・研究開発グループ 総括教諭]
[鈴木 まり絵・キャリアガイダンスグループ 教諭]
[齋木 真理子・生徒支援グループ 養護教諭]
定時制課程
[柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭]
[上杉 和弘・教育活動推進グループ 総括教諭]
- 質疑応答・委員からの意見聴取
- その他・今後の予定

(3) 閉会(中島校長より) 16:25～16:30

(1) 開会 (石野会長より)

・進路実績に目が行きがちだが、小田原高校の存在は地域のシンボルであり、地域の方々にも色々と支援をお願いして頂きたいと思う。

(2) 学校運営協議会

1. 出席者紹介

2. 令和5年度学校評価実施結果報告及び学校教育計画「4年間の目標」に対する取組の達成度評価総括表について(各グループより)

○学習支援グループ[柴田総括教諭]

・学習指導については、生徒の自己肯定感を高める授業を展開するが一番の目標であり、資料の通り授業評価の肯定的評価80%を目指してきた。資料の通り肯定的評価が前期80%を超え、後期90%となり向上改善が見られ、魅力ある授業づくりの成果が表れたと考える。4年間の目標の達成度◎の理由としては前期と後期を比較し、後期に向上しており、教員と生徒との人間関係や信頼関係に向上が見られたと考えている。

○教育活動推進グループ[上杉総括教諭]

- ・生徒指導・支援については、資料の通り生徒数が少ないこともあり、きめ細かな支援ができています。全職員がコミュニケーションを密にし、生徒への支援を行い、SSWとも連絡を取っている。達成度◎となり、問題行動の発生数が劇的に減り、生徒支援で一定の成果が出たといえる。
- ・進路・指導支援については、学校行事で文化祭等楽しかったという生徒が93%となり、小中に登校できていない生徒もいるが、10名中8名内定、2名ハローワークに行き、100%就職を目指し、外部機関とも協力している。
- ・停電を想定した校舎を真っ暗にした防災訓練を行う等、防災教育に努めている。

○総務グループ [菊地原総括教諭]

- ・予定通り防災訓練を実施できた。地域貢献活動の内容については今後も検討していきたい。様々なご協力のもと今年度は第76回卒業式を体育館で従来の伝統ある形式で実施できた。

○教務グループ[山口総括教諭]

- ・生徒の履修希望科目に対応した時間割を作成できた。理数探究を来年度から本格的に取り組むために研究開発と連携しながら進めている。事故・不祥事防止では入選システムの見直しや職員の意識の徹底を図り、防止に努めている。

○研究開発グループ[由元総括教諭]

- ・SSHに今年度から指定され、授業評価の項目等も変更となった。集計方法を変更したため数値が下がっているように見えるが、内容には肯定的な意見が多く、それぞれの目標は達成されたといえる。多くの事業を行うことができたが、課題も見えたため、来年度以降改善に努めていきたい。

○キャリアガイダンスグループ[鈴木教諭]

- ・進路希望実現のためさまざまな行事を行うことができた。大学別合格者数は現時点での内容で私立大学については例年並みである。

○生徒支援グループ[齋木養護教諭]

- ・後期スポーツ大会は生徒が運営し無事に終えることができた。合唱コンクール次週行う予定であり、部活動では様々な部活で成果があげられた。サポートドック等を行い、生徒支援を行っている。今後も生徒の成長につながるような行事運営をしていきたい。

○鈴木教頭

- ・来週より生徒2名がメリーランド州への派遣事業に参加する予定である。

3. 質疑応答・委員からの意見聴取

(定時制)

石野委員 進路ではその時々需給によって選択する学部学科や関心のある学科はどのようなものがあるか。

上杉総括教諭 進学においてはコミュニケーション系や英語に興味を持った生徒がそういった学部に行ったり、人と関わる職業につながるような進路を選ぶ生徒がいる。

石野委員 自分の第一志望の実現のために、不本意なところには行きたくない、浪人はさけない等はあるか。

上杉総括教諭 過去には浪人する生徒もいたようであるが、生徒によって異なる。

石野委員 全日制では、大学進学が多いが、定時制は人間関係はどのようになっているか。

上杉総括教諭 生徒によって異なり、色々な生徒がいる。

和田委員 不登校の生徒は自分の意見を言っても大人は受け入れてくれないと決まり文句のように言うが、定時制の前期と後期では信頼関係が増しているという成果は素晴らしいと思う。

上杉総括教諭 生徒数が少ないため、手厚く生徒を支援できていることが成果につながっていると思う。

市川委員 立派な卒業式を実施していただきありがたい。

石野委員 ボランティアとして、生徒と一緒に草むしりやゴミ拾いを今後行わせていただけるとありがたい。

(全日制)

石野会長 こういった状況で進路実現、進学校としての役割を期待されていることは大変だと思う。私は高校3年のときに勉強に専念できず不登校になった経験があるが、その傷ついた経験が現在の自身の教員としての資質向上につながっていると思う。生徒の認めてもらいたいという基本的な気持ちを汲んでご指導していただけるとありがたい。

中島校長 今年度の卒業生の理系文系の割合はどうなっているか。

鈴木教諭 理系と文系の割合は6:4で理系が多く、文理混合やデータサイエンスの学部学科も人気が高い。

和田委員 埼玉の浦和高校は夜遅くまで学校を開放しており予備校に行っている生徒が少なく、学校で自学自習をしているようである。OB会が協力をしているようで小田原高校でもそのような環境を整えてもよいのではないかと考えている。SCやSSWは全校配置をしているが、あまりうまく機能していないという話を聞くが、SSWの活用についてはどうなっているか。

齋木教諭 本校のSSWは他校と兼務しており、本校ではそこまで活用されていないが、教員の会議に入る等して頂いている。来年度以降の活用法については検討していきたい。

市川委員 公開授業に招いて頂いており今後も参考にさせていただきたい。中学校の教員も知的学力が優位になってしまっており、資料活用力の育成が今後の課題である。

(3) 閉会(中島校長より)

- ・全日・定時でできることをやっていきたい。全日定時ともに今後地域との関わりをさらに深めていきたい。SSHと進学重点校となったため、今後ともさらにご支援頂けるとありがたい。

4. その他・今後の予定

特になし

[資料]

(1) 令和5年度第3回小田原高等学校学校運営協議会

(2) 令和5年度学校評価報告書(実施結果)・学校教育計画「4年間の目標」に対する取組の達成度評価総括表
【全日制】

(3) 令和5年度学校評価報告書(実施結果)・学校教育計画「4年間の目標」に対する取組の達成度評価総括表
【定時制】

(4) 全日制資料(各グループより)

- ・研究開発 G…「令和5年度後期生徒による授業評価アンケート」/ 令和5年度スーパーサイエンスハイスクールに係る資料:「①研究開発実施報告」「②研究開発の成果と課題」
- ・キャリアガイダンス G…「令和6年度入試での大学別合格者数(4年比較)」令和6年3月1日現在 途中経過」
- ・生徒支援 G…「3月6日(火) 部活動活動場所等 一覧」/「部活動の入賞記録」/「海外派遣(教頭より)」

(5) 定時制資料(各グループより)

- ・学習支援 G…「定時制授業評価」
- ・教育活動推進 G…「令和5年度秋の遠足/球技大会/総合的な探究の時間発表会」